

# 平成27年度予算見積調書

課室名: 畜産安全課  
 担当名: 畜産振興担当  
 内線: 4193

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B34	「彩の国地鶏タマシャモ」血統更新事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費	
事業期間	平成27年度～平成32年度	根拠法令	養鶏振興法				戦略項目	08 埼玉農業の競争力強化	
							分野施策	030201 収益力ある農業の確立	
1 事業の概要	<p>彩の国地鶏タマシャモの生産効率を向上させるため、血統を更新するとともに、機械整備を行いヒナの安定供給を図る。                      また、農業高校と連携してタマシャモの維持及び振興を行う。</p> <p>(1) 彩の国地鶏タマシャモ開発研究事業 3,191千円                      (2) 彩の国地鶏タマシャモ生産機械整備事業 8,716千円                      (3) 農業高校連携推進事業 595千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      農林総合研究センターが飼育する彩の国地鶏タマシャモの種鶏は血縁が濃くなり、産卵率や病気への抵抗力が低下し、ヒナの実産効率が悪化している。そこで、他系統のシャモを導入してタマシャモの血統を更新するとともに、効率的生産のための機械整備を行い、ヒナの安定供給を図る。                      また、農業高校と連携し、鳥インフルエンザのリスク回避のための種鶏の分散飼育を行い、タマシャモの維持を図る。</p> <p>ア 彩の国地鶏タマシャモ開発研究事業 3,191千円                      他系統シャモ導入による血統更新                      イ 彩の国地鶏タマシャモ生産機械整備事業 8,716千円                      血統更新に必要な機械の整備(ふ卵機2台、育すう器4台)                      ウ 農業高校連携推進事業 595千円                      農業高校の鶏舎改良</p> <p>(2) 事業計画                      平成27年度 機械整備、彩の国地鶏タマシャモ開発研究、種鶏分散飼育                      平成28年度～ 彩の国地鶏タマシャモ開発研究、種鶏分散飼育</p> <p>(3) 事業効果                      血統更新と機械整備によって生産効率が改善し、ヒナの安定供給が図られる。                      また、鳥インフルエンザのリスク回避により、農林総合研究センター周辺で鳥インフルエンザが発生した場合でも、タマシャモの維持が可能となる。                      平成25年度 34,840羽 平成32年度 40,000羽</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況                      彩の国地鶏タマシャモ普及協議会(生産者、食鳥処理業者、販売業者、行政機関)と連携し、タマシャモの生産拡大を推進する。                      また、農業高校と連携してタマシャモの維持を行う。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との 対比
決定額	12,502							12,502	12,502
前年額									